

定例公安委員会の開催概要

定例公安委員会は、令和2年4月8日（水）に開催されました。

1 決裁事項

- ・ 秋田県議会第1回定例会2月議会における審議状況について
- ・ 令和2年第1回定例会への出席者の変更について
- ・ 令和元年度暴対法に基づく責任者講習の実施結果について

2 報告事項

(1) 交通事故発生状況と死亡事故の特徴について（令和2年3月末）

県警察から、令和2年3月末の交通事故発生状況と死亡事故の特徴に関する報告があった。

交通事故発生状況は、発生件数338件、死者数13人、負傷者数407人で、前年同期より発生件数は51件、負傷者数は55人減少したが、死者数は8人増加した。死亡事故の特徴として、四輪乗車中、昼間、幹線道路での発生が多くなっているとのことであった。

委員から、『多角的に事故の傾向をしっかりと捉えて、対策をしていただきたい。』『一層の対応強化をお願いする。』との発言があった。

(2) 陸空一体となった危険運転車両の交通指導取締りの実施について

県警察から、陸空一体となった危険運転車両の交通指導取締りの実施に関する報告があった。

高速道路交通警察隊と航空隊では、高速道路における交通の安全と円滑を確保するため、4月9日、パトカーと県警ヘリコプター「やまどり」が連携して、悪質・危険なドライバーに対する陸空一体となった交通指導取締りを実施するとのことであった。

委員から、『あおり運転については、県民の関心も高いことから、適切に対応していただきたい。』との発言があった。